

法蔵館書店ニュース 9月

目次

話題の本	P1	特集1:住職必携!の本を集めました	P16~17
法蔵館新刊案内	P2~4	特集2:2024年法語カレンダー	P18
法蔵館重版案内	P4	お知らせ	P19
法蔵館刊行予定案内	P5	法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P20
法蔵館書店新着案内	P6~15		

★お知らせ★ 9、10月の書店休業日

9月のお休み:3日・10日・17日・24日
10月のお休み:1日・8日・15日・22日・29日

話題の本

- 東奥日報(2023/8/19) ●沖縄タイムス(2023/7/22)
- 京都新聞(2023/7/22) ●神戸新聞(2023/7/15)
- 琉球新報(2023/7/9) ●秋田魁新報(2023/7/8)

『神々の精神史』 [法蔵館文庫]

小松和彦著、伊藤慎吾解説・文庫判・432頁
1,540円・ISBN:978-4-8318-2645-9

- 世界日報(2023/8/13) ●月刊住職 8月号(2023/8/1)
- 読売新聞(2023/7/24)

『唯識—これだけは知りたい』

加藤朝胤監修、船山 徹・石垣明貴紀著
四六判・336頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-7771-0

- 図書新聞(2023/8/12) ●山形新聞(2023/7/9)

『創価学会—政治宗教の成功と隘路』

櫻井義秀・猪瀬優理編
四六判・336頁・2,530円・ISBN:978-4-8318-7765-9

- 中外日報(2023/8/4) ●日本歴史 8月号(2023/8/1)
- 部落解放 842号 8月号(2023/8/1)

【シリーズ宗教と差別 第3巻】

『差別の地域史

—渡辺村からみた日本社会』

磯前順一・吉村智博・浅居明彦監修
小倉慈司・西宮秀紀・吉田一彦編
A5判・280頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-5723-1

- 月刊住職 8月号(2023/8/1) ●毎日新聞(2023/7/31)

『生きものたちと仏教のはなし』

華園真慶著・四六判・112頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-2460-8

- 佛教タイムス(2023/7/27)

『近代日本の仏教と福祉

—公共性と社会倫理の視点から』

井川裕寛著・A5判・380頁・5,500円
ISBN:978-4-8318-5578-7

- 長崎新聞(2023/7/24) ●東奥日報(2023/7/15)
- 京都新聞(2023/7/15) ●宮崎日日新聞(2023/7/2)
- 山陽新聞(2023/6/25)

『信仰か、マインド・コントロールか

—カルト論の構図』 [法蔵館文庫]

櫻井義秀著・文庫判・384頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-2647-3

- 中央経済新聞(2023/7/19)

『増補改訂 近代仏教スタディーズ

—仏教からみたもうひとつの近代』

大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編
A5判・352頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-5580-0

- 宗教と社会 29号(2023/6)

『神智学と仏教』

吉永進一著、碧海寿広解題
四六判・378頁・4,400円・ISBN:978-4-8318-5564-0

- 宗教と社会 29号(2023/6)
- 山岳修験 第71号(2023/3/31)

『女人禁制の人類学

—相撲・穢れ・ジェンダー』

鈴木正崇著・四六判・372頁・2,750円
ISBN:978-4-8318-5650-0

◆ひとりふたり・・——報恩講を迎える

【真宗／仏教】

ためし読み



四衢 亮編・A5判・24頁・136円

※30部以上は1部110円、100冊以上はさらに送料無料

身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

定期購読をお申込みいただくと……

優先的にいち早くお届け!

買い忘れなく安心です!

詳しくは、法蔵館書店まで。

定期購読
受付中!



《目次》

- ◎いのちの言葉
ウシユマ・サンダマリさんの命を見つめて …………… 安田津津紀
- ◎真宗で終活!
終活としての生前整理——物の片づけは、心の片づけ—— …… 小林尚樹
- ◎真宗のしきたりの不思議 自宅での法事に招かれたら …………… 松本智量
- ◎おうちで精進料理(秋) 小松菜の炒め和え …………… 西川玄房
- ◎カンタン英語で浄土真宗入門 英語で和讃に親しむ …………… 大来尚順
- ◎お寺でヨーガ
リハビリヨーガ——健やかな身体を保つ技—— …………… Yai
- ◎真宗の名言名句
私はかつて、牛であり、草であり、大地であった(釈尊) …………… 渡邊晃純



◆住職必携——真宗大谷派儀式作法

【仏教／真宗】

大谷制以知著・A5判・224頁・2,860円・ISBN:978-4-8318-8785-6

調声・声明の作法、本堂内陣の荘厳、各種法要の式次第など、お勤めの基礎から住職実務までを図や写真入りで詳しく説明。住職やこれから住職になる方、そして僧侶も必携の書!

■目次

- I 服装・装束・念珠
- II 本堂内陣の荘厳
- III 平日勤行・定例法要の勤め方
- IV 勤行・調声
- V 出仕・作法
- VI 年忌法要の式次第
- VII 寺院での葬儀式 ほか

※詳しくは16頁

ためし読み



◆合掌の道

【仏教／真宗】

——現代の課題に問われつつ「蓮如上人御影道中」を歩く

川島弘之著・四六判・170頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-8799-3

喜びも悲しみも、出会いも別れも、人生は「合掌に至る道」だった——。人生に虚しさを覚え、生きる実感を求めて放浪生活に身を投じた著者が出遇ったものとは。

■目次

まえがき
お祖母様への手紙……
宮森サツさんのこと……
自我意識……
浄土のありか…… ほか

ためし読み



◆近世思想と仏教

【仏教／思想史】

末木文美士著・A5判・416頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-6279-2

「近世仏教墮落論」が克服されたいま、多様で複雑な近世仏教思想の〈特質〉と〈画期性〉、そして〈魅力〉を探るための論点を提示する。

■目次

はじめに
第一章 近世思想と仏教
第二章 仏教と諸思想の交流
第三章 近世中期の仏教研究——鳳潭を中心に
第四章 女性と仏教
第五章 近世仏伝の世界 ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆近代日本の国家と浄土真宗

2刷 【仏教史／近代】

——戦争・ナショナリズム・ジェンダー

福島栄寿著・A5判・294頁・4,180円・ISBN:978-4-8318-5569-5

仏教はいかに「国民国家の〈宗教〉」たろうとしたのか。真宗者・真宗教団による言説を分析し、国民国家と仏教の関係を改めて考察。

■目次

序章
第一章 〈近代仏教〉再考
第二章 魅る清沢満之
第三章 仏教者の自己認識と内地雑居論 ほか



〈2023年10月 刊行予定〉

◆続 インド・チベット曼荼羅の研究

田中公明著・B5判・予280頁・予22,000円・ISBN:978-4-8318-7751-2

【美術史／仏教】

チベット仏教圏で発見された古作の曼荼羅を調査し、その図像解析と成立年代を解明した前著の刊行から27年以上。その後の研究の進展を反映させた最新の成果、待望の刊行！

◆心に響く3分間法話 やさしい仏教の話

桜井俊彦著・四六判・96頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8979-9

【仏教／真宗】

2頁で1話の短編法話集。子どもにも大人にも読んでほしい、仏教の教えに基づくやさしい心やあたたかい心を記した、「カメラは仏さま?」「仏教徒に喪はない」等の38話。

◆中国初期禅思想の形成

【中国仏教】

古勝 亮著・A5判・292頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7773-4

思想・文献・言語の研究の手法・視点を用いて「文献としての思想」から「生の思想」に近づき、禅がどのように中国人の思想・宗教として形成されていったのかを明らかにする。

◆東大寺要録 三 東大寺叢書

【日本史／史料】

東大寺史研究所編・A4判・510頁・38,500円・ISBN:978-4-8318-5203-8

東大寺開山良弁僧正1250年御遠忌記念出版！ 東大寺本巻第七～巻第十のフルカラー影印に加え、解題論文4本(執筆:榮原永遠男／横内裕人／坂東俊彦／富田正弘)を収録する。

◆良弁僧正——伝承と実像の間

ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集 第20号

GBS実行委員会編・A4判・予120頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-0720-5

【仏教／歴史】

令和5年か1250年御遠忌の東大寺開山良弁僧正。良弁杉の説話に代表される出生にまつわる伝承と正倉院文書等史料上に垣間見られる壮年期以降の史実の間を埋め、その実像に迫る。

◆中国仏性論

頼永海著、何燕生訳・四六判・560頁・4,400円・ISBN:978-4-8318-7768-0

【中国仏教】

一切衆生には悉く仏性があると仏典は説く。その仏性とはいかなるものか。東アジア仏教を特色づける思想「仏性」説について、中国における歴史と思想的展開を跡づける。

法藏館書店新着案内

◆西方指南抄講讃——親鸞が仰いだ法然のことば

武田一真著・A5判・587頁・8,800円〈永田文昌堂〉

法然聖人の法語・伝記・消息・行状などが二十八篇収録されており、法然教学および親鸞教学の重要な資料である。その中で今回主に、中本「三昧発得記」「法然聖人御夢想記」、中本「十八条法語」、中末「源空聖人私日記」、中末「決定往生三機行相」、中末「本願体用事」、下本「浄土宗大意」、下末「四種往生事」について詳しく解説する。

■目次

- 第一章 中本「三昧発得記」「法然聖人御夢想記」
- 第二章 中本「十八条法語」
- 第三章 中末「源空聖人私日記」
- 第四章 中末「決定往生三機行相」 ほか



◆顕浄土真実教文類述讃

満井秀城著・A5判・165頁・5,500円〈永田文昌堂〉

坂東本を底本、西本願寺本を対校本として、宗祖が心血を注いで著わそうとされた「教文類」の一言一句について、細部にわたり詳しく解説する。また巻末の附録に、「教文類」部分についての「対照所感」も収録する。

■目次

- 0、「総序」
 - 一、「題号」顕浄土真実教文類序
 - 二、本文
- I、「教文類」
 - 一、「題号」顕浄土真実教文類一
 - 二、「撰号」愚承釈親鸞集 ほか



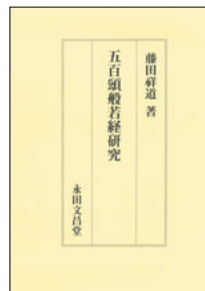
◆五百頌般若経研究

藤田祥道著・A5判・234頁・10,450円〈永田文昌堂〉

このたび初めて明らかとなったサンスクリット原典を中心として、さらにチベット訳、漢訳を比較参照することにより、五百頌般若経を総合的かつ精確に解説する。まず仏教思想史と関連典籍、同教の内容と構成について解説し、和訳と註解に続く。

■目次

- 序説
 - 一 「五百頌般若経」に至るまでの仏教思想史と関連典籍
 - 二 「五百頌般若経」の内容と構成
 - 三 諸語テキスト、経題、成立年代
 - 四 本経に対する仏典の言及とこれまでの研究 ほか



サンガ聖典シリーズ5

◆浄土論註講義 II

藤場俊基著・A5判・134頁・1,100円〈サンガ伝道叢書〉

藤場俊基氏による浄土論註講義の決定版！ II 巻目。
天親菩薩の称名念仏に成就した本願の名号をキーワードに、『浄土論註』の意(こころ)が、今、読み解かれる！
真宗大谷派能登教区連続教学講座=『浄土論註』共同学習会における藤場俊基氏の講義を元に、講師による加筆修正を経て編集した講義録。

■目次

講義 第3回 2011年6月8日

『浄土論註』の課題

難行・易行の二種の道

五濁の世・無仏の時

漢字の発音表記「反切」について ほか



サンガ聖典シリーズ4

◆正信偈講義 II

藤場俊基著・A5判・129頁・1,100円〈サンガ伝道叢書〉

藤場俊基氏による正信偈講義の決定版！ 名古屋東別院会館を会場として開催された、思仏智の会主催「正信偈」講義の録音を元に、講師による加筆修正を経て編集した講義録、第II巻。

■目次

講義 第3回 2015年9月17日

一 法蔵菩薩の因位

二 諸仏の浄土の因・国土人天の善惡をみる

三 沈黙の思惟 ほか



サンガ聖典シリーズ13

◆真宗の救い——和讃に聞く I

佐野明弘著・A5判・134頁・1,100円〈サンガ伝道叢書〉

2022年に真宗大谷派赤羽別院にて開催された2021年度赤羽別院真宗講座における法話を収録。本巻では、「浄土和讃」の第1首から第3首までについてお話しされています。

■目次

第一講 前半「法然上人との出遇い」 後半「真宗は遇うものである」

第二講 前半「浄土教は生きている間に救われることを断念している」
後半「仏様は悲しみの世に出る」

第三講 前半「世の真実をてらすなり」
後半「罪の悲しみを抱えて生まれてくる」



原始仏典Ⅳ

◆小部經典 第一卷

中村 元監訳、前田専學監修、羽矢辰夫編訳、矢島道彦・榎本文雄編
A5判・378頁・8,800円〈春秋社〉

「パーリ語三蔵」の中の「経蔵」に収められている原始仏教經典のうち「小部經典(クッダカ・ニカーヤ)」の現代語訳・注記・經典解説を収録。4(第1巻)は、第1経～第4経を平明な訳文で綴る。

■目次

序文	第三経 三十二の身体の構成要素
凡例	第四経 子どもの問い ほか
クッダカパータ 羽矢辰夫	ダンマパダ 中村元
第一経 三帰依	ウダーナ 羽矢辰夫
第二経 十の戒律条項	イティヴッタカ 羽矢辰夫 ほか



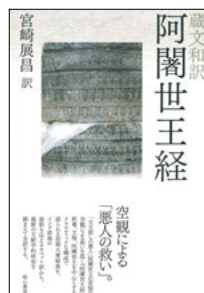
◆藏文和訳 阿闍世王経

宮崎展昌訳・A5判・371頁・8,910円〈起心書房〉

“父王殺しの悪人”阿闍世王の苦悩の、空観による救いを説く「阿闍世王経」。ドラマティックな構成で語られる初期大乘經典を、インド原典の面影を伝えるチベット訳から、最新の文献学的研究を踏まえて全訳する。

■目次

はじめに
解題
藏訳『阿闍世王経』訳注研究
あとがき
〈阿闍世王経〉諸本対照表



◆古代インド論理学の研究

——ブッダ・龍樹・ニヤヤー学派

石飛道子著・A5判・449頁・10,560円〈起心書房〉

「實在論的論理学」ニヤヤー学派に対し、「空の論理」に立ち激しい論争を繰り広げた龍樹は、いかにしてゴータマ・ブッダの「争いなき立場(無諍処)」を実現したのか? 「ブッダの論理」を求め続けた著者永年の研究の集大成。

■目次

はじめに
従来の研究の展望と本書の方法論
第1章 ゴータマ・ブッダ―「一切」を語ることば―
第2章 ニヤヤー学派―インド論理学の確立―
第3章 龍樹とニヤヤー学派―『方便心論』の世界― ほか



◆教化研究 第170号

教学研究所編・A5判・1,650円〈東本願寺出版〉

特集：誕生

巻頭言 人と生まれたのではなかったのか……宮下晴輝

特集にあたって

研究ノート

江戸期における坂東本『教行信証』の活用（補遺）……藤原 智

講演録

本願寺の北海道開教の歴史について……谷元晃久

研究余話 親鸞聖人誕生の伝承地に建つ句碑……松金直美

研究余話 震災十二年の相双真宗寺院……御手洗隆明



◆歎異抄文意

今田法雄著・四六判・266頁・2,970円〈方丈堂出版〉

浅原才市(1850-1932)、金子みすゞ(1903-30)と『歎異抄』の接点を探り、新たな妙好人の実像を描き出し、『歎異抄』の概要を親鸞の他力思想の視点から明らかにする。

■目次

はじめに

前序 「歎異抄」の歴史的背景

第一条 浄土真宗の利益

第二条 念仏をとりて信じ

第三条 善人と悪人

第四条 慈悲と愛 ほか



◆「能登教壇」 法話冊子第六号

尾畑文正著・A5判・41頁・50円

〈真宗大谷派能登教区教化委員会広報部門〉

真宗大谷派能登教区の教化事業の法話抄録。

第五十一回能登教区同朋大会兼慶讃法要教区お待ち受け大会記念講演の尾畑 文正師の法話を収録。

■目次

「世のなか安穩なれ 仏法ひろまれ—いまを生きる課題—」尾畑文正

※通販でのご注文は20冊単位とさせていただきます。
20冊＝1,000円(税込)



◆弥勒

宮田 登著・文庫判・272頁・1,221円〈講談社〉

56億7000万年後に現れて衆生を救うという仏、弥勒。古代日本に伝わると、災害や飢饉と結びつき、末法思想として全国に広がった。戦後民俗学の泰斗が、日本独自の弥勒信仰の歴史と民族を復元し、日本文化の原型を描く。[「新しい世界への祈り」](校成出版社 1980年刊)の改題]

■目次

- 第一章 民間伝承としての弥勒
- 第二章 宗教運動と弥勒
- 第三章 比較宗教論における弥勒
- 第四章 日本仏教における弥勒
- 第五章 鹿島信仰と弥勒 ほか



ちくま学芸文庫 ミ-2-7

◆靈魂の民俗学——日本人の靈的世界

宮田 登著・文庫判・281頁・1,210円〈筑摩書房〉

出産・七五三・葬送など、いまでも残る日本人の生活儀礼には、いかなる独特な「靈魂観」が息づいているのか。民俗学の泰斗が平明に語る。

■目次

- I 日本人の一生
- II 神・妖怪・祭り
- III 女・子供・老人
- IV 現代社会と民俗学



ちくま学芸文庫 サ-53-1

◆須弥山と極楽——仏教の宇宙観

定方 晟著・文庫判・221頁・1,100円〈筑摩書房〉

仏教は宇宙をどう捉えたか。5世紀インドの書『俱舍論』の須弥山説を基礎に他説も参照し、仏教的宇宙観とその変遷を簡明に説いた入門書。

■目次

- 1章 人間は宇宙をどう捉えたか
- 2章 仏教の「地獄と天界」
- 3章 極大の世界と極微の世界
- 4章 仏教宇宙観の底を流れるもの
- 5章 西方浄土の思想 ほか



◆種明かししない柳田国男

——日本民俗学のために

福田アジオ著・四六判・249頁・3,520円〈吉川弘文館〉

柳田国男は何を憂い、何を考えて日本民俗学を創出したのか。列島内で暮らす人々の歴史を、生活事象とそれを表す言葉によって解き明かそうとした学問の根本に立ち返り、その問題点を検討。今後の民俗学のすすむべき道を探る。

■目次

- I 柳田国男論と柳田国男研究
- II 柳田国男の研究構想
- III 柳田国男の研究成果と問題点
- IV 日本民俗学の特色と今後の方向



新潮新書 1005

◆スサノヲの正体

関 裕二著・新書判・190頁・836円〈新潮社〉

荒ぶる悪神か、救いの善神か。「古事記」と「日本書紀」とでキャラクターが大きく異なるスサノヲ。豊富な知識と大胆な仮説で古代史の謎を追ってきた著者が、スサノヲの正体に鋭く迫る。豊富な知識と大胆な仮説で古代史の謎を追ってきた著者が、スサノヲの正体に鋭く迫る。

■目次

- 序 章 スサノヲはどこで祀られているか
- 第一章 なぜ古事記で敬われ、書紀で蔑まれるか
- 第二章 ヤマト建国の立役者は誰だったのか
- 第三章 天皇家の祖神はスサノヲなのか
- 第四章 なぜスサノヲは「抹殺」されたか ほか



講談社学術文庫 2763

◆日本幻獣図説

湯本豪一著・文庫判・242頁・1,210円〈講談社〉

河童、鬼、天狗、人魚、龍、雷獣、そして予言獣。人間界に跳梁する奇妙・奇天烈な怪物たちを、江戸時代の瓦版・錦絵・妖怪本、明治の新聞記事や絵葉書から完全再現する。

■目次

- 1章 幻獣名鑑
- 2章 予言する幻獣
- 3章 記録のなかの幻獣
- 4章 幻獣の背景



◆信じる者は破壊せよ

——古代ギリシア・ローマ、キリスト教が招いた暗黒の世紀

キャスリーン・ニクシー著、松宮克昌訳・四六判・273頁・4,620円〈みすず書房〉

新興宗教にすぎなかったキリスト教は、いかにして古代世界の教義を消滅させ、「たった一つの真の信仰」が支持される時代を招いたのか？ ローマからアレクサンドリア、シリア砂漠からアテナイへ——読む者を地中海じゅうに誘いながら、破壊と殺戮に彩られた「暗黒の世紀」を追う、衝撃の歴史ドキュメンタリー。

■目次

- 第1章 目に見えない軍勢
- 第2章 悪魔の戦場
- 第3章 賢明さは愚かなことである
- 第4章 「少数の殉教者について」 ほか



◆人生論——「自受用三昧」から「自然法爾」へ

黒崎 宏著・四六判・189頁・3,080円〈春秋社〉

95歳の老哲学者が説く人生の極意。道元、良寛、親鸞、莊子、パウロ、西田幾多郎、セネカ、……多くの思想家たちの言葉から、すべてが衰亡していくなかにあっても、執着を捨て、あるがままを受け入れ、ただ生きる、それが幸福に生きる方途だと明らかにする。

■目次

- 1 序
- 2 私の「死生観」
- 3 本についての残す言葉
- 4 人生論—「自受用三昧」に生きよ！ ほか



◆考えないこと——ブッダの瞑想法

アルボムツレ・スマナサーラ・四六判・240頁・1,650円〈大和書房〉

最適な自分のコンディションをつくるブッダの瞑想。瞑想は、ストレスを消し、心のモヤモヤをきれいに取り去り、快適に生きるためのツール。いつでもどこでもすぐ始められる、頭と心を「空」にする技術。

■目次

- Prologue
- 第1章 毎日手を洗うように心を洗う
- 第2章 慈悲の瞑想「やさしさ」を通して心を整える
- 第3章 ヴィパッサナー瞑想 思考を手放す
- 第4章 いつでもどこでも「ながら」瞑想 ほか



◆古事記に秘められた聖地・神社の謎 ——八百万の神々と日本誕生の舞台裏

三橋 健編・B6判・239頁・1,430円(ウエッジ)

日本神話・文化・歴史の源泉『古事記』。そこには神話・伝説の舞台として数多くの土地が登場する。編纂者・太安万侶没後1300年を迎えるいま、『古事記』を読み解くうえで重要な地域・聖地を30ほど選び、その奥深さに触れていく。

■目次

- 第1章 神話を歩くⅠ コラム 『古事記』成立年の謎
- 第2章 神話を歩くⅡ コラム 常世国とはどこか
- 第3章 古代天皇の足跡Ⅰ コラム 『古事記』と伊勢神宮の謎
- 第4章 古代天皇の足跡Ⅱ コラム 「天香山」はなぜ低山なの



◆浄瑠璃寺の365日——石仏の里に佇む静寂の寺

佐伯功勝著・A5判・179頁・1,870円(西日本出版社)

三重塔と本堂に囲まれた、大池のある浄土式庭園は、その名の通り極楽浄土を思わせます。興福寺や西大寺の奈良仏教とともに歩みながら、立地する場所は京都、ご住職佐伯功勝さんが、そんなお寺と南山城にながれる時を綴ります。

■目次

- 浄瑠璃寺伽藍(境内図)
- ・浄瑠璃寺の湧水
- ・大きな柿の木
- ・参拝の栞
- ・落ち葉が池に沈む頃 ほか



◆Q&A本尊の?に答えます

古田和弘著・B6判・31頁・165円(東本願寺出版)

朝夕のお勤めをはじめ、あらゆる仏事の中心である「本尊(ほんぞん)」。「本当に尊い」という言葉に託されてきたころがあります。現代の私たちにとって「本当に尊い」とは? 「本尊ってなんですか?」「どうして合掌するんですか?」といった基本的な内容からQ&A形式で紐解く小冊子。

■目次

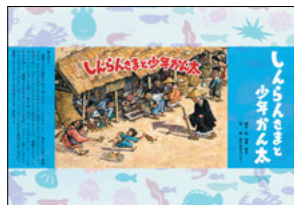
- Q1 本尊ってなんですか?
- Q2 阿弥陀仏ってどんな仏さまですか?
- Q3 お釈迦さまは座っているイメージですが、
どうして阿弥陀仏は立っておられるのですか?
- Q5 どうして本尊には、木像や絵文字があるのですか?
- Q4 どうしてお釈迦さまが本尊じゃないのですか? ほか



◆しんらんさまと少年かん太【紙芝居】

諸橋精光：脚本・絵、真宗大谷派青少幼年センター監修
265mm×380mm・17頁・1,980円〈東本願寺出版〉

流罪となった親鸞聖人の、越後の地での少年 かん太との出会いを描く。17枚組親鸞さまが越後の国で過ごされていたときのこと。海辺の市場で親鸞さまは、店のものをぬすんだ少年かん太と出会います。大人たちによって、浜辺の柱にしばりつけられたかん太と話をするうちに、親鸞さまは一人ぼっちのかん太の心を知って涙を流します。かん太がかわいがっている子犬をとおして、親鸞さまが阿弥陀さまのこころを話し、やさしく抱きしめると、かん太は大声で泣きだしました。どこまでも広がる越後の海と空の下、親鸞さまと少年かん太との心の交流をえがく物語です。



◆おばけのかぞえうた 1・一・一つ

高谷まちこ：文と絵・B5判・32頁・1,650円〈ハッピーオウル社〉

お話を読みながら数をかぞえる楽しさを体感できる「かぞえうた」絵本。読み聞かせにもおすすめ！

ひがくれて くらくなったら おばけのじかん。

さあ、みんなを さそって あそびにいこう！

とのさまだぬきが まってるぞ！

お話を読みながら、数をかぞえる楽しさを体感できる「かぞえうた」絵本。数字のついた絵の中には、数字になぞらえたおばけや火の玉が！

算用数字・漢数字などを、楽しみながら覚えられます。



◆あなたのなまえを

大塚健太：文・もろろ：絵・A4変判・36頁・1,650円
〈マイクロマガジン社〉

わが子が生まれるまでの、名前に思いを巡らす毎日。それは子の幸せを願う、祈りの日々でした。優しいイラストと言葉で紡ぐ愛の絵本。



◆【普及版】法隆寺——世界最古の木造建築

西岡常一・宮上茂隆著、穂積和夫イラストレーション
A5判・109頁・1,650円〈草思社〉

世界最古の木造建築である法隆寺に込められた、古代日本人の技術と知恵を、豊富なイラストと分かりやすい文章で徹底解説！ 法隆寺の解体修理にあたった棟梁と、建築史家と、建築科の出であるイラストレーターの三人が協力して、法隆寺がどのようにして建てられたかという難しい問題を解き明かした本です。この本をとおして、私たちは古代日本人の技術や知恵が想像以上にすぐれたものであったことを知るでしょう。



隔週刊古寺行こう A4変判・42頁・各770円〈小学館〉

◆永平寺と北陸の名刹 35

◆建長寺 円覚寺と古都鎌倉の名刹 36

永平寺と北陸の名刹 35……曹洞宗の大本山・永平寺は、奥深い山里に道元が開創して以来約800年後の今も日本全国から修行僧が参禅する北陸屈指の名刹。開山・道元の教えを受け継ぐ永平寺の歴史や文化財の数々、若き雲水たちの修行する七堂伽藍などを掘り下げてお届けします。

建長寺 円覚寺と古都鎌倉の名刹 36……中国の高僧を開山に招き、鎌倉武士たちが心を磨いた臨済禅の教えを今に伝える2つの古寺をはじめ、鎌倉大仏で有名な高德院、四季折々の花が美しい長谷寺など、古都鎌倉の名刹をたっぷり特集。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 9月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー

吉田恵里香さん(脚本家)

◎特集 宗教リテラシーを身につける

新連載 ・キッチン薬時記

新連載 ・息できる風景

新連載 ・仏教ゆかりの生きもの図鑑 ほか

◆大乘 9月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・DAIJO法話「彼岸会」に思うこと……満井秀城

・ご機言！お寺の掲示板……江田智昭

・結婚してお坊さんになりました「バス」

……前田純代

・和のこころ 親鸞聖人のご和讃…玉木興慈

ほか

特集1 住職必携!の本を集めました

発売前から多くの方にご予約を頂いておりました、法蔵館新刊『住職必携』が
いよいよ発売! そんな『住職必携』と併せて読みたい本を集めました。

住職必携——真宗大谷派儀式作法

新刊

大谷制以知著・A5判・224頁・2,860円・ISBN:978-4-8318-8785-6〈法蔵館〉

お勤めの作法、本堂内陣の荘厳、調声・声明作法など、`基礎`から`住職実務の必須事項`まで簡潔解説。住職のみならず僧侶も必携の書。

■目次

まえがき

I 服装・装束・念珠

II 本堂内陣の荘厳

III 平日勤行・定例法要の勤め方

IV 勤行・調声

V 出仕・作法

VI 年忌法要の式次第

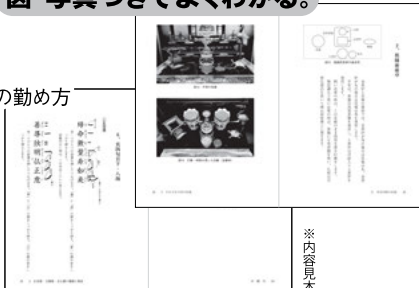
VII 寺院での葬儀式

VIII 参考資料

あとがき

索引

図・写真つきでよくわかる。



改訂新版

大谷派本願寺 伝統行事

——裏話と風物詩

川島眞量著、川嶋 正編・四六判・194頁・2,420円
ISBN:978-4-8318-7922-6〈法蔵館〉

真宗大谷派の本山(東本願寺)伝承の年中行事や勤行、風物詩について、本山堂衆を五十余年に亘り勤めた著者が詳しく紹介した貴重な資料を復刊。

2刷

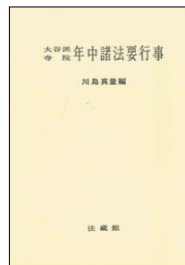


大谷派寺院 年中諸法要行事

川島眞量編・四六判・196頁・4,796円・ISBN:978-4-8318-9104-4〈法蔵館〉

毎月行事、定例法要、年忌法事、御遠忌、臨時特修法要、仏前結婚式、葬儀並びに葬儀前後の行事の諸式などを解説した手引書。立花・供筭等の説明付。

14刷



袈裟のはなし〈普及版〉

久馬慧忠著・四六判・96頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-6410-9〈法蔵館〉

お釈迦様ご自身が、仏道修行の一助にと考案された袈裟。
その特長から種類・着け方、袈裟功德まで、袈裟のすべて
をやさしく解説。

7刷



真宗の儀式——声明作法

真宗大谷派教師養成のための教科書編纂委員会編
A5判・150頁・1,650円〈東本願寺出版〉

本編「声明作法」、付編「真宗寺院の歴史」の二部構成。仏具、法衣等の写真も付して解説。



住職と檀家総代のための 式辞・挨拶文例集

青山社編集部編・A5判・236頁・5,280円〈青山社(大阪)〉

落慶法要・晋山式・弔祭など、急な依頼に役立つ文例126篇。類例の少ない檀家総代の式辞挨拶も収録。(通宗派用)



真宗の仏事——お内仏のある生活

真宗大谷派宗務所出版部編・B5判・149頁・550円〈東本願寺出版〉

真宗大谷派の仏事を学ぶ基本書。お内仏の荘厳の仕方からおつとめの作法、報恩講をはじめとする定会法要(年中行事)まで、今さら聞けない仏事の基本を写真入りで解説するとともに、お内仏にお給仕をすることの意義、私たちに願われていることを共に考えていく、真宗門徒必携の一冊。



浄土真宗 仏教・仏事のハテナ?

東本願寺出版編・B6判・117頁・660円〈東本願寺出版〉

浄土真宗の仏教・仏事にまつわる素朴な疑問「ハテナ?」をまとめ、答えた本です。真宗門徒の生活とは切り離せない、仏教・仏事の手引書としてお手元に、また初めて真宗の教えを聞くようになられた方への贈り物として、ぜひご活用ください。



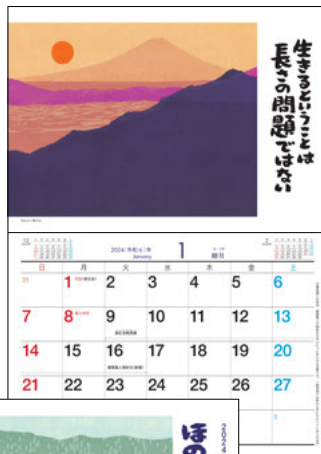
特集2 2024年法語カレンダー

毎年ご好評いただいているカレンダーが出来上がりました。ご注文はお早めに！

◆2024年ほのぼのカレンダー

詩：東井義雄 文字・絵：谷内正遠 150円〈法蔵館〉

教育者として、念仏者としてひたむきな人生を歩まれた故・東井義雄先生の心あたまるお言葉(詩)が毎月の法語に、故・谷内正遠先生の木版画文字と絵で彩る。何気ない日常の中の気づきがある法語と、ほっと癒やされる絵が大人気のカレンダー。スケジュールの書き込みもしやすいサイズです。

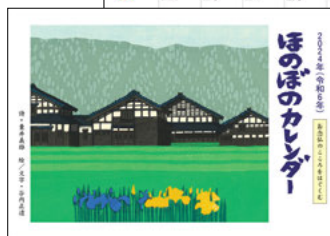


お施本に最適！

ほのぼのカレンダー法語解説書

お米のいのち
心から拝んでいたかく
東井義雄著・31頁・110円

ほのぼのカレンダー各月の言葉に沿った、東井義雄先生のお話を収録。はじめて東井先生を読む方にもおすすめ。



※寺院名等の印刷も承ります。(有料)

詳細は法蔵館営業部 075-343-0458までお問い合わせください。

◆2024年版 法語カレンダー

150円 〈真宗教団連合・出版広報委員会〉

浄土真宗のみ教えに生きる門信徒の皆さまが、本願を喜び、一日一日をお念仏の薫る家庭にさせていただきたいという願いをもって、真宗教団連合発行の1年を法語と絵によって綴ったカレンダー。

親鸞聖人の教えにふれた先達の方々のお言葉の中から、表紙も含め13の法語を掲載。



法語カレンダー随想集

今日のことば 2024年版

83頁・121円〈東本願寺出版部〉

2024年版『法語カレンダー』の各月のことばについて、13人の著者が執筆する随想集。



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店 協賛

テーマ：念仏一筋の道を選ぶ―浄土宗立教開宗850年記念 法然上人の導き

第4回 リモート可

10月27日(金) 愚癡に還りて極楽へ

佛教大学学長 伊藤 真宏氏

(会場：京都テルサ 東館2階セミナー室

(地下鉄烏丸線九条駅4番出口、西へ徒歩5分)・定員：168)

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL：075-682-1625 FAX：075-682-1722

Eメール：shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

お土産や記念品として最適

ずっと使える! 日めくりカレンダーをご紹介します

◆[卓上]日めくりカレンダー 正信偈

32頁・880円(東本願寺出版)

真宗門徒の毎日のお勤めとして親しまれる「正信偈」の言葉を、真宗本廟(東本願寺)や涉成園、大谷祖廟の四季の写真とともに掲載した日めくりカレンダー。「正信偈」につづられたお念仏の教えにふれるきっかけとなることを願い、裏面には書き下し・意識も収載。



◆[卓上]日めくりカレンダー 歎異抄

16頁・660円(東本願寺出版)

今なお広く親しまれる親鸞語録・『歎異抄』。その中から31の言葉を選び、真宗本廟や涉成園、大谷祖廟の写真とともに掲載した卓上日めくりカレンダー。四季折々の風景とともに、毎日『歎異抄』のことばに親しめる。



◆お東さんの日めくりカレンダー 行灯法語

信國真一 随想文・四六編判・17頁・770円(東本願寺出版)

ふと足を止め、日常を問い返す 31のメッセージ。

京都・東本願寺を象徴する御影堂・阿弥陀堂・御影堂門をゆったりとめぐる日替わりイラストを掲載。

※法語は、東本願寺周辺に設置している「法語行灯」より掲載。

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(8月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真	真宗佛光寺派	250円
2	正信偈講座	梯 實圓	本願寺出版社	1,980円
3	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅲ	平野 修 述「平野修師講義集」 編集実行委員会 編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
4	仏教ゆかりの植物図鑑	松下 俊英 文 大島 加奈子 絵	東本願寺出版	1,210円
5	西方指南抄講讀—親鸞が仰いだ法然のことば	武田一真	永田文昌堂	8,800円
6	終活と宗活【伝道ブックス88】	雲井一久	東本願寺出版	330円
7	【基礎から学ぶ浄土真宗①】阿弥陀仏と浄土—親鸞が歩んだ道	内藤知康	法藏館	2,200円
8	真宗児童聖典	真宗大谷派 青少幼年センター	東本願寺出版	1,100円
9	正信念仏物語—親鸞聖人偈頌意訳本	松下雅文 訳	法藏館	220円
10	親鸞伝と本願寺俯瞰—東西本願寺のちがい	鎌田宗雲	永田文昌堂	2,750円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教友の会

検索





法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458

発行人: 西村明高

E-mail: shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!

法蔵館文庫

◆江戸時代の官僚制

【日本史／近世】

藤井譲治著・文庫判・272頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-2652-7

一次史料に基づく堅実な分析と考察から、幕藩官僚＝「職」の創出過程とその実態・特質を明瞭かつコンパクトに論じた日本近世史の快著。

■目次

- I 章 大久保長安と大岡忠相
- II 章 「人」から「職」へ
- III 章 「職」の形成とその特質
- IV 章 十七世紀中葉の幕府官僚たち ほか

ためし読み



◆宗教民俗学

【民俗／日本史】

高取正男著、柴田 實・村上紀夫解説・文庫判・384頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-2653-4

民俗学の見地から日本宗教史へとアプローチし、日本的信仰の淵源をたずねる。著者の真骨頂ともいえるべき民間信仰史に関する論考を精選。

■目次

- I 幻想としての宗教
通世・漂泊者一本源的二重構造の問題―
- II 宗教と社会―信仰の日本的特性―
村を訪れる人と神―日本人の信仰―
山と稲と家の三位一体―日本民族信仰の根幹―

ためし読み



◆天狗と修験者―山岳信仰とその周辺

【民俗／仏教】

宮本袈裟雄著、鈴木正崇解説・文庫判・288頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2654-1

修験道の通史、天狗や怪異伝承、修験者の特性や信仰の実態、恐山信仰などを考察。多様な事例から修験者の固有信仰を幅広く論じる。

■目次

- I 修験道の展開
- II 天狗伝承
- III 山と修行者
- IV 修験と民間信仰
- V 恐山信仰と下北の他界観 ほか

ためし読み

